

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	15-068	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>		
The alcohol policy environment and policy subgroups as predictors of binge drinking measures among US adults. 米国成人におけるアルコール過剰摂取予測因子としてのアルコール関連政策		
<b>執筆者</b>		
Xuan Z, Blanchette J, Nelson TF, Heeren T, Oussayef N, Naimi TS		
<b>掲載誌</b>		
Am J Public Health. 2015. 105(4):816-22. DOI:10.2105/AJPH.2014.302112		
<b>キーワード</b>		<b>PMID</b>
アルコール過剰摂取、アルコール関連政策、飲酒運転、酒税		25122017
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的：</b>                      アルコールに関連した国家レベルの政策およびその他の政策と、個人レベルで調査したアルコール過剰摂取の関連を検討した。</p> <p><b>方法：</b>                      米国におけるアルコール関連政策 (alcohol policy) とアルコール過剰摂取指標の関連について一般化推定方程式回帰モデルを用い検討した。アルコール関連政策は、2004～2009年の米国における29の政策を対象とした。政策の有効性、実行状況をスコア化したアルコール関連政策スコア (alcohol policy scale score, APS score) を算出した。また、アルコール過剰摂取指標は、2005～2010年の行動危険因子サーベイランスシステム調査 (behavioral risk factor surveillance system survey) の結果より、3つアルコール過剰摂取指標 (アルコール過剰摂取の有無、頻度、量) を用いた。</p> <p><b>結果：</b>                      APS score の10%上昇は、アルコール過剰摂取、5回以上 (過去30日) のアルコール過剰摂取、最大10杯/回以上の飲酒の調整オッズ比はそれぞれ8%、8%、10%低下した。アルコール過剰摂取軽減との関連が強い政策は、未成年集団よりも一般集団を対象とした政策、飲酒運転よりアルコール消費量を対象とした政策、そしてアルコール価格を引き上げ、あるいは入手を困難にさせる政策であった。すべての政策で確認された影響の約半分は酒税および販路密度により説明された。</p> <p><b>結論：</b>                      アルコール価格の引き上げ、および入手しにくくするような政策が、アルコール過剰摂取へ影響与える可能性が示唆された。</p>		